

【実験動物センター 新型コロナウイルス感染症対策につきまして No.3】

新型コロナ感染拡大による研究活動対応についての注意喚起(緊急事態宣言等に備えて)が提示されました。

最新の情報をご確認いただき、通知事項の周知徹底をお願いいたします。

《繁殖施設における飼育管理について》

今後予想される研究活動レベル別の対応に備え、実験用動物の維持管理において、飼育動物の大幅な削減が必要になります。飼育動物の適正化に向け、繁殖施設における多頭飼育(過密飼育)の改善、交配計画の検証についてご対応をお願いいたします。

1)多頭飼育(過密飼育)の改善

過密飼育につきましては日頃より改善いただくようお願いしておりますが、今後予想される事態に備えて速やかに過密飼育を削減していただくよう要請いたします。

※産仔、母獣の死亡事故が多発しているため、以下については、重点的に管理いただけますよう要請いたします。

- ・妊娠動物の管理(雄親との同居解消、妊娠動物同志の同居も出産前までには解消する)
- ・離乳後の動物を性別確認せず同居させること。

2)繁殖ケージの調整

遺伝子組換え動物の系統維持(単一系統の維持)を対象とした繁殖のみとしていただくよう要請いたします。

遺伝子組換え動物の系統間交配(系統 A と系統 B の G1 の作製など)は調整対象となります。

※対象施設(第 1 飼養保管施設、第 2 飼養保管施設、中央飼養保管施設 9 階 SPF 管理区域 ラット発生工学飼育室)

3)系統維持のための凍結保存の検討

当センターを利用している分野で、凍結サンプルが未作製の系統については、凍結精子の作製をご検討ください。

※詳細につきましては、こちらよりご確認ください。<http://www.tmd-cea.jp/>

4)キャリーバッグの利用について

今後、キャリーバッグの利用が急増することを見込み、在庫の準備を進めております。

一度に大量に利用される場合は、各施設管理事務室前に設置する利用簿に事前に記入をお願いいたします。

また、利用後は速やかに返却くださいますようご協力をお願いいたします。

以上

ご多用のところ大変恐れ入りますが、分野内でご周知いただけますようお願いいたします。

実験動物センター管理事務室

※センター問い合わせ先 : info.arc@cmn.tmd.ac.jp